

野球

平成27年度春季近畿地区高等学校野球大会



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

主将の篠原君

先制本塁打を放つ



▲9回裏に好守を見せる百田君

▲2回表、篠原君の先制本塁打

▲ホームランボールを手にする森杉君(左)と篠原君

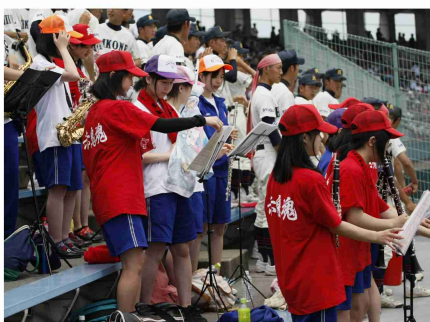


2回表、篠原連君(3-1-4)がレフトへの本塁打で先制した。8回表、森杉亮太君(3-1-3)が勝ち越し本塁打を放った。また、9回に百田康紀君(3-1-4)がショートへの強い打球を抑える好プレーが出た。
篠原君は「変化球がきたら打とうと思っていた。思いっきり振ったら本塁打がでたので本当に良かった」と喜びを噛みしめた。森杉君は「全国

でも名を誇る強豪の大阪桐蔭高校と試合ができて本当に良い経験になった。次の試合も自分たちの野球ができるように練習したい」と話した。

百田君は「小さい頃から強豪校だと知っていただけに、まさか勝るとは思っていなかった。初回でエラーをしてしまったのは惜しかったが、途中からは良い試合ができた」と試合を振り返った。また、百田くんのお父さんは、「トーナメント上の不運を覆すことが出来た。要所要所を抑える東高らしいプレーが勝因だと思ふ」と試合を分析した。

顧問の藤江隆史先生は「今日の試合は上出来だった。全国の強豪チームと大勢の観衆の前で試合できるのがあるたい。これから今のチームでどこまでいけるかためしたい」と話された。



▲野球部の応援に合わせて演奏する吹奏楽部



▲勝利が決まり湧き上がる観客席

今回の試合では本校の吹奏楽部も応援に駆け付けた。吹奏楽部部長の西川千尋さん(2-1-2)は「応援を通して野球部との一体感を感じることが出来た。少しでも野球部の力になれていたらうれしい」と笑顔で話した。
スタンドは赤鬼魂のTシャツを着た応援団が試合を見守っていた。観客からは「ただただ、うれしい」「文武両道だと聞く。野球も勉強も両立してほしい」「夏の大会が楽しみ。東高らしく逆転を許さない良い試合だった」と喜びの声が挙がった。